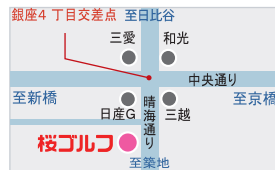


株式会社 桜ゴルフ
 東京都中央区銀座5-9-1 銀座コティビル3階
 (銀座4丁目交差点より1分)

【お問い合わせは】

0120-83-5021
 本社営業部 03-3572-8511
 伊勢丹新宿店 03-3358-9181
<https://www.sakuragolf.co.jp>



1月の関東圏平均相場は+0.6%と、25年の会員権相場は値上がりで滑り出しました。昨年の12月後半に表れた相場の浮揚感が、1月の値上がりにつながっています。注文数は前月比27%増え、売り買い比率では買いが優勢となりました。

価格帯別では総額300万500万円未満の中堅上位が+2.1%と突出した伸びをみせました。個人の根強いクラスアップ需要が上昇を牽引し、特に長竹・石坂・鎌ヶ谷・中山等の値上がりが目立ちました。次いで、500万円以上の

25年相場は値上がりで始動



草分けとしての使命を
佐川 八重子

25年1月の価格帯別相場推移 (諸費用含む価格帯、単位：%)

価格帯	24年	1月						年初比
		1週	2週	3週	4週	5週	月間	
1000万円以上	8.7	0.0	0.4	0.1	▲0.2	0.2	0.4	0.4
500万円以上	8.8	0.0	0.4	▲0.1	0.1	0.3	0.6	0.6
300万円以上	17.6	0.0	0.6	0.6	0.4	0.4	2.1	2.1
150万円以上	6.8	0.0	0.3	▲0.3	▲0.4	0.3	▲0.1	▲0.1
70万円以上	1.5	0.0	▲0.3	0.5	0.0	0.4	0.6	0.6
70万円未満	3.1	0.0	0.4	0.3	0.2	0.3	1.2	1.2
平均	8.6	0.0	0.4	0.1	▲0.1	0.2	0.6	0.6

関東圏平均相場 140.2万円 (1月5週時点、桜ゴルフ総研調べ)

～25年1月相場のポイント～

- 月間+0.6%、春高に向かい軽快にスタート
- 注文数が前月比+27%。売買比率は買い優勢
- 300万円以上が+2.1%と突出、市場をけん引
長竹・石坂・鎌ヶ谷・中山等が高い値上がり
- 法人も始動。新役員向けに名門の物色目立つ
桜ヶ丘・厚木国際等は昨年から人気を保つ
- 箱根・大浅間・河口湖など一部のリゾートコース
が早くも品薄傾向
- 経済見通し不安定感拭えず、下期予測は不透明

高額コースでは、まだ本格化前ながら、法人の新役員に向けた名門コース物色の動きがみられ、桜ヶ丘・厚木国際等は昨年から高い人気となっています。

70万円未満のお手頃も底堅く推移しました。

また、箱根・大浅間・河口湖といった一部のリゾートコースは、シーズンを見越して早くも品薄傾向となっています。

一方、第2次トランプ政権が発足し、関税引き上げの懸念が浮上するなど、経済見通しは不安定と言わざるを得ません。足元の需給状況は春高に向かい堅調ですが、下期以降も買いが先行する状態を保てるかは不透明です。

活況続くゴルフ市場 不安材料もあり

24年を振り返ると、20年から始まった第3次ゴルフブームは5年続きました。ゴルフ場の延べ入場者は天災などの影響で前年比2.3%減少したものの、高原状態を保ちました。

また、昨年当社が受けた買い注文は前年を7.9%上回る規模に達し、買いが先行する活発な市場が展開しました。

大きな注目を集めたのがPGMを傘下に持つ平和が国内最大手のゴルフ場運営会社アコーディア・ゴルフを買収した事です。今後ゴルフ場の再編が進む可能性をみせました。

また、運営コストの増加により年会費を値上げするコースが多かったのも特徴でした。今年も更に増加する可能性が考えられますが、市場には、年会費の負担増から不要コースの処分が増えることが予測されます。

私どもは『会員になる喜び』を広くに伝え、今年も買いが先行する明るいゴルフ市場が展開する事を願っています。

ゴルフアーカイブ2024

ゴルフ場入場者	41都道府県1,150コース(全体の約53%)の判明分延べ入場者数は年間約4848万人。能登半島震災や集中豪雨があり前年同期比▲2.3%も、大幅な増加に転じた21年以降の高原状態を推移。依然としてスタート予約が取りにくいコースが多く、ゴルフブーム(第3次)が継続。男性では若年層を含む概ね全ての年代でコース参加率が高く、女性ゴルフアーマも高水準保つ。
会員権市場	関東圏平均相場は年間8.6%の上昇。20年以降、5年連続のプラスで累計の上昇率は約30%の大幅高。価格帯では300～500万円未満が17.6%の突出高。地域別では東京が+31.2%と他エリアを大きく引き離す。年会費値上げが相次ぎ、低価格帯を中心に売りが殺到するも、個人のクラスアップ志向と法人の名門回帰需要が定着し、中・高額帯と東京が相場を牽引。全体では1年を通じて、買い先行の活発な市場が展開。買い注文は前年を7.9%上回った。
ゴルフ場再編	国内第2位のPGMを傘下に持つ平和が国内最大手のゴルフ場運営会社アコーディア・ゴルフの買収を発表。世界最大321カ所のゴルフ場保有会社に。買収額は平和の時価総額、約2380億円をはるかに超える5100億円。スケールメリットを生かし、経営効率化を図る。
年会費値上げラッシュ	ゴルフ場の整備・メンテナンスなどにかかるエネルギー、資材、人件費のコスト上昇を受け、年会費を値上げする動きが相次いだ。24年に年会費値上げを実施したコースは80コースに上る(23年:26コース、22年:11コース)。25年はすでに51コースが値上げを打ち出し、昨年を上回る可能性もある。不要コース処分増加の予測も、買い先行の明るいゴルフ市場を。